

「農業女子力」PR

「ひめこらぼ」自慢の品を販売 東京で収穫祭

農山漁村女性・生活活動支援協会などは23日、女性農業者の取り組みをアピールしようと東京都江東区で「ひめこらぼ×東京カルカル 農業女子大収穫祭!!」を開いた。「ひめこらぼ」は女性農

林漁業者の経営発展を目指す全国ネットワークで、今回は9人の女性農業者らが駆け付け、自慢の農産物や加工品を紹介。集まった約100人に対面販売などをした。農産物をPRするト



「おいしいですよ」と自慢の農産物を販売するひめこらぼのメンバーら(23日、東京都江東区)

レポート

クシヨウでは、4秒の里山で肉用牛5頭を通年放牧し、ビーフジャーキーを販売する岡山県新見市の岡田朋子さん(38)が「牛は自然豊かな環境で育っている。栄養成分はスパーで売られているものとは違い、赤黒い肉の味は濃くておいしい」と紹介。福岡県糸島市で糸島金山寺納豆を製造・販売する柚木マミさん(58)は「海や山に囲ま

れ、食材が豊富な糸島では若手農家が頑張っている。地元で栽培される米や麦、大豆を使用した納豆は味がまろやかで日本酒にも良く合う。ネットでも販売している」と売り込んだ。他にも、有機栽培米や赤米、無添加梅干し、和牛肉、リンゴ、ジェラートなどを、女性としての思いを込めて紹介した。横浜市から参加した主婦の宮澤幸子さん(36)は「多くの女性が農業分野で活躍していて誇らしい。いろいろと食べてみたい」とうれしそうに話した。会場では自慢の食

材を使った特別メニューの提供や農業女子検定クイズ、じゃんけん大会などが行われた。